

第19号

令和2年5月15日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



主な記事

- 第1回定例会報告・令和2年度予算 P2～P3
- 質疑あれこれ
(予算審査・第6期まちづくり計画審査特別委員会) P4～P6
- 町政** ここを問う(総括質問・一般質問) P7～P9
- 第6期まちづくり計画要望内容 P10
- 常任委員会報告 P11
- 各種委員会報告 P12



おもいやり明日へ
Kindness for Tomorrow



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索

第1回定例会で審議された議案

「第6期まちづくり計画基本構想」の改定を議決

令和2年度各会計予算は、一般会計・3特別会計・1企業会計合わせて64億5,393万円を予算審査特別委員会にて審議し、条例改正・人事案等、全26議案を原案のとおり可決しました。

【議案審議結果】

新年度 予算	令和2年度一般会計・3特別会計・1企業会計予算 予算関連条例等7件を含む各会計予算は、予算審査特別委員会で審査	全会一致
補正 予算	令和元年度一般会計補正予算(第7号) 各事業の見込み精査により、歳入歳出3,980万6千円を減額 令和元年度一般会計補正予算(第8号) 担い手確保・経営強化支援事業費補助金300万円を増額 令和元年度国民健康保険事業会計補正予算(第2号) 診療施設補助金911万円、広域連合歳計剰余金等1,767万円を増額 令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 後期高齢者医療広域連合納付金144万円増額等 令和元年度下水道事業会計補正予算(第3号) 下水道使用料の見込み精査等620万円の減額 令和元年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号) 外来・入院患者の減に伴い実質収支9,192万円の赤字見込み	全会一致
条例・ 規約 改正	職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例 会計年度任用職員の服務の宣誓に関する必要な事項の改正	全会一致
	固定資産税評価審査委員会条例及び手数料条例の一部を改正する条例 国の情報通信の技術利用に関する法律改正に基づく事務手続き等の改正	全会一致
	町税条例の一部を改正する条例 国民健康保険法施行令の一部改正・国保税率の改正	全会一致
	町立国民健康保険病院事業の設置等に関する条例及び監査委員条例の一部を改正する条例 地方自治法等の一部改正に伴う改正	全会一致
	町営住宅条例の一部を改正する条例 民法の一部改正に伴う改正	全会一致
	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 容器包装プラスチックごみの収集運搬及び処理を廃止することに伴う改正	全会一致
	敬老祝品等に関する条例の一部を改正する条例 金婚祝品を廃止するための改正	全会一致
	道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例 自転車通行帯の設置に関する基準を定め、自転車道の設置に関する基準を改める改正	全会一致
	放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 放課後児童支援員の資格に関する経過措置を延長するための改正	全会一致
	砂川市と奈井江町における学校給食に係る事務の委託に関する規約の制定について 奈井江、浦臼町学校給食組合規約の変更・解散・解散に伴う財産処分について 奈井江、浦臼町学校給食組合を令和2年9月30日をもって解散し、砂川市に学校給食事務(調理及び洗浄業務)を委託する関連規約等の整備	全会一致
人事案	副町長の選任について 相澤公氏の任期満了に伴い、後任に碓井直樹氏の選任に同意 (任期 令和2年4月1日～令和6年3月31日)	賛成8 反対1
	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて 萬博文氏の辞職に伴い、後任に相澤公氏の任命に同意 (任期 令和2年4月1日～令和3年10月15日)	賛成8 反対1

【決議書審議結果】

決 議 名	提案者
「議員報酬等のあり方に関する調査特別委員会」の設置について	笹木利津子議員
「役場庁舎に関する調査特別委員会」の設置について	笹木利津子議員
「民族共生の未来を切り開く」決議	大関 光敏議員

令和2年度一般会計等5会計の 予算総額 64億5,393万円

各会計の決算額

会 計		令和2年度	令和元年度	増 減
一 般 会 計		45億9,300万円	46億3,300万円	△4,000万円
特別 会計	国 民 健 康 事 業 会 計	1億8,200万円	1億7,686万円	514万円
	後 期 高 齢 医 療 特 別 会 計	1億 550万円	9,805万円	745万円
	下 水 道 事 業 会 計	4億6,400万円	4億2,410万円	△1,770万円
町 立 国 保 病 院 事 業 会 計		11億6,703万円	12億3,882万円	△7,179万円
合 計		64億5,393万円	65億7,083万円	△1億1,690万円

※ 町立国保病院事業会計 … 一時借入金 1億4千万円繰越

	令和元年度末 繰越実質収支見込	令和2年度当初予算	
		単年度実質収支	繰越実質収支
国民健康保険病院事業	△ 4,783万円	△ 1億1, 126万円	△ 1億5, 909万円

一般会計から各会計への繰出金

会 計	国・道補助金分	町持出分	計
国 民 健 康 事 業 会 計	2,931万円	1,786万円	4,717万円
後 期 高 齢 医 療 特 別 会 計	2,363万円	1,235万円	3,598万円
下 水 道 事 業 会 計	1億7,832万円	7,361万円	2億5,193万円
町 立 国 保 病 院 事 業 会 計	2億 140万円	1億5,055万円	3億5,195万円
合 計	4億3,266万円	2億5,437万円	6億8,703万円

令和2年度基金残高見込み

	R元年度末見込	積 立	取 崩	R 2年度末見込
財 政 調 整 基 金	3億1,602万円	13万円	1億7,733万円	1億3,882万円
減 債 基 金	3,122万円	1万円	0	3,123万円
地 域 振 興 基 金	1億1,976万円	3万円	554万円	1億1,425万円
農業担い手育成基金	3,301万円	1,218万円	909万円	3,610万円
過疎地域自立促進特別事業基金	2,233万円	1,350万円	750万円	2,833万円
役場庁舎整備基金	2億3,021万円	3,009万円	0	2億6,030万円
森林環境譲与税基金	113万円	241万円	10万円	344万円
合 計	7億5,368万円	5,835万円	1億9,956万円	6億1,247万円



質疑あれこれ

主な Q & A

奈井江町交際費増

問

40万円から100万円に増額しているが、理由と検討状況について

答 企画財政課長

これまで、交際にかかわる経費を、交際費と食糧費から支出してきたが、一層の透明化を図るため、交際費支出基準を制定し、支出については毎月ホームページで公開していく。予算額については、前年

度予算額40万円、食糧費からの組み換え分45万円に加え、奈井江町をPRするため、来庁者や訪問先への贈答品代15万円を加え100万円とした。近隣市町では66万円から195万円であり過大なものではない。

会計年度任用職員制度の対応

問

臨時職員が会計年度任用職員になったことから、賃金が予算書では比較できないが

答 総務課参事

昨年度の予算では78名分の賃金、共済費合計で7,903万9千円を計上。今回はパートが55名、フルタイムが11名合わせて66名で7,949万7千円、人数は減少しているが手当等の増額によりほぼ同額を計上している。

定住促進対策助成金

問

この事業の目標と期待される効果

答 町長

人口増加に直結する、町外からの転入者の補助については、新築助成では4件、中古住宅助成で5件を計画している。

引き続き、定住対策の推進を図り、人口減少の抑制に加え、子育て世帯の移住による小学校入学者の増加、移住者のまちづくりの参加や、事業の創出など、

地域活性化に様々な効果が上がることを期待している。

ふるさと応援寄付金

問

経費が多いが内容について

答 企画財政課長

経費が増えているのは、ポータルサイト関係の費用が増えたことによる。サイト数が寄付の増加につながることから、1社増やし3社を予定している。手数料は5〜9%で値上がりしてきている。

問

経費率が年々上がり65%となっているが

答 町長

65%のうちの30%は地域振興、地場産品の振興であり、奈井江町のPRに繋がることから、今の制度を活用していきたい。

まちづくりチャレンジ事業

問

新規事業だが募集期間が短い、どのように取り組むのか

答 企画財政課長

2つの事業で構成されており、1つ目はイベント開始支援型、2つ目はクラウドファンディング型であり、50万円を限度に補助を行う。募集が4月から5月。事業計画の審査を6月に予定している。

確かに期間は短いが1年中募集するわけにはいかないので、期間の延長も考えながら1件でも実施できるように進めていく。

自立支援の医療費

問

所管替えが多くわかりにくい。障がい者支援に要する経費の自立支援の医療費の内容は

答 保健福祉課長



更生医療ということでは、人工透析の方24名の医療費の負担を計上している。昨年までは自立支援給付費等という中に含まれていた。

防災訓練

問 防災訓練が計画されているが予算説明がない。訓練の内容は

答 総務課参事

令和2年度は全町的な総合防災訓練を実施という考えで準備を進めている。国、道、それから消防署を初め警察署等々の各関係機関に日程調整を含めて依頼している。

町民の皆さんに見ていただき、参加していただく観点から、炊き出しも考えている。予算に関しては、防災に要する経費の中で対応する。

予定は7月中旬ごろを想定している。

公設塾

問 教育委員会事務局に要する経費の各種事業関連委託料について

答 教育委員会事務局長

令和2年度はこれまでどおり中学生を対象とした公設塾を開設する。令和3年度に開設する新たな公設塾では地域おこし協力隊を活用しながら進めていきたいと考え、そのスタッフ体制を整えるための予算としている。

英語指導助手の確保

問 2名予定しているがコロナウィルスが世界的に流行しており確保できるのか

答 教育委員会事務局長

道を通じ、自治体国際化協会に2名募集の手続きをしている。採用に関して確定するのが5月中旬、着任においては例年8月の前半ですが、今年はオリンピックがあり9月中旬と伺っている。

道における新規応募は昨年267名に対して、今年は271名ということでは例年どおりであり、道からは配置できるのではないかと伺っている。

コロナウィルスの影響については現在わかりかねるが、採用できなかった時には、改めて対応について検討する。

国民健康保険事業

問 税率見直しの経緯と基金残高について、税率改定の影響について

答 町民生活課長

北海道国民健康保険の運営方針に基づき2年ごとに税率を見直し平成6年までに道が示す標準税率にしたと考えている。

今回、令和元年度末の基金が約2億5千万円あることから基金を活用し資産割を廃止し、道が示す3方式へ移行するとともに、応能応益割の税率の負担調整を行い、平成6年標準税率としたとき、基金残高は1億2千8百万円になると推計している。

資産を持つている方は、減額になる一方、町独自の緩和措置をしても資産を持たない約半数の方は若干増額となる。

町立国保病院

問 令和2年度末における資金不足額、および資金不足率は

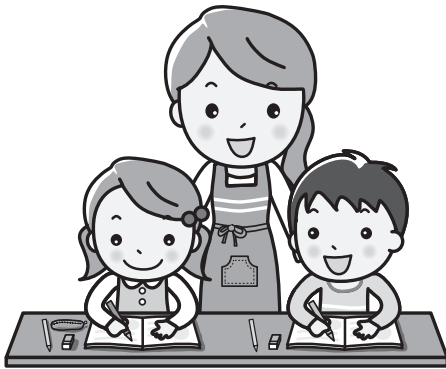
答 町立病院事務局長

令和元年度末の資金不足額は4,783万円で、資金不足比率は7・8%となる見込みで、令和2年度末では資金不足額は1億5,908万円となり、資金不足比率は25・1%となる見込み。このようにならないよう経営改善に努めている。

問 資金不足が20%を超えると財政健全化計画の作成など一般会計にも影響が出るのではないかと

答 町長

この状況を町民の皆様には理解をいただき、一般会計の負担のあり方、地域包括ケアでの役割など病院のあり方について協議していきたい。



奈井江町第6期まちづくり 計画に関する審査 特別委員会

質疑あれこれ

令和2年2月12日

公園遊具の更新

問 今回利用状況から北
町の白樺公園を優先

令和2年2月12日に「奈井江町第6期計画の改定に関する審査特別委員会」の設置をし、付託された「奈井江町第6期まちづくり計画基本構想の改定について」審議し、全会一致をもって可とすることに決定し、意見を付して第1回定例会に報告した。

建設環境課長

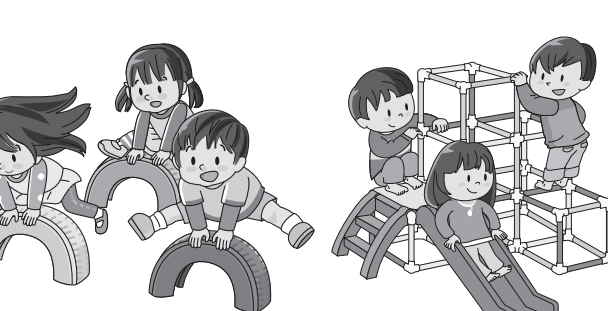
して整備すること。少子化が進んでいるので、各地区同じように整備するのではなく地域にあった公園整備を考えていただきたい

公園遊具については、街地の各連合区単位で遊具施設を集約化することを基本としてきたが、利用状況などから北町連合区の白樺公園を最重点地区として令和2年に遊具更新を計画した。他の公園については、通常の保守点検整備をしていく。

児童館の集約

問 児童館の集約の方針が示され、利用する場所が遠くなる子どもの対応は考えているのか

保健福祉課長



閉館後の運用については、子ども、子育て会議、関係する皆さんのご意見を伺いながら課題点、問題点を整理した上で、対応策について考えていきたい。

奈井江温泉のあり方

問 どのように進めるのか、今後のスケジュール

産業観光課長

役場庁舎建替え

問 期間が短い中で取り組むとした経緯について伺う

答 町長

役場庁舎の現状と課題については全員協議会で報告し、その後、町民委員会にも同様の説明をしました。私どもの現状整理に対して町民委員会として建て替えるべきとの方向性をいただき、今回の実施計画に載せさせていただいた。

議員報酬等のあり方に関する調査特別委員会

議員報酬等のあり方を調査するため
開催日程は未定

役場庁舎に関する調査特別委員会

役場庁舎に関する調査のため
4月3日・4月17日委員会開催
(奈井江町役場庁舎整備基本計画等)
次回質疑等報告いたします。

町政 ここを問う

3月定例会では3人の議員が**総括質問・一般質問**を行いました。

QRコードを読みとることで総括質問の音声を聞くことができます。

産業まつりの今後のあり方について



町長 各団体と検討、協議を進める



大関光敏

大関

35回目を迎えた産業まつりについては、今回のまちづくり後期実施計画策定時や様々な場面ですでに議論されていると思うが、出店者や協力者の減少により、規模縮小で進んでいると思われる。

人口減少やスマートフォンの普及、他市町村のイベントなど色々と楽しむ場面が増えたことや来場者の減少もあり、今後ますます寂しいまつりになるのではと心配である。

一方で2回目となったさ

くら祭りは1万2千人もの来訪があったと聞く。さくら祭りへの支援、協力は引き続き必要と考えるが、産業まつりについては奈井江町のイメージアップやPRの場として必要と考える。

今後、開催の目的や名称、場所、日程も含めさらなる検討が必要と思うが町長の考えを伺う。

町長

本事業については、まちづくり計画後期実施計画においても検討対象とされたところであり、様々な委員会等で協議され、年に1度町の総力が結集するイベントとして意義があること、また、各団体、町民にも深く定着しているものであることは

再認識されたところであり、本事業自体は継続していく方針である。

一方で内容が定型化しており何らかの変化をもたらし、参加団体からは出店の担い手の高齢化や減少といった課題も出されている。

今後の方向性としては1日開催に向けて検討を進めるとしたところである。

しかし、2日間をそのまま1日に凝縮するのは様々な課題があるため、実行委員会を形成する各団体と一緒に課題を洗い出し、検討協議を進めてしっかりとした方向性を出していきたい。



玉入れ



産業まつり

町立病院の経営健全化

赤字累積を抑える、 早急な対応は



町長 現状の洗い出し、検証をし、一つ一つを連携



篠田 茂美

取り組んだことの評価は
②町内外の有識者による検討委員会を4月に設置した後のスケジュールと町民に対する説明は

篠田

町長

①町立国保病院の経営健全化のための新改革プランで

①新改革プランでは、医師

地域包括ケアシステムの推進

2介護施設のその後の 状況については

町長 16名が転籍、施設運営等に支障はない

篠田

①新聞に報道されましたが、派遣職員は苦渋の選択

を迫られ、それぞれ決断をしたところである。
なぜ転籍が少数にとどまったのか、また、復帰者へ

等の確保、病床数の見直し等に取り組み、削減効果は数字としては大きくないが職員の意識改革にもつながり評価している。
②検討委員会は幅広い議論を行っていたが、町民がどのような病院を求めているのか、4月に町民アンケートを実施し、結果や議論状況等も、広報に掲載し報告する。

令和3年度に向け、新改革プランの見直し及び予算編成までに一定の方向性を得られるようにする。

の対応については
②事業団で職員の募集も行っています、入所者の方々に迷惑はかからないのか

町長

①派遣開始当時42名の職員であったが、最終的に16名が転籍することになりました。
本人の意向を尊重し、職員の動向の結果として捉え

ている。

それぞれ新たな職場において、町職員としての責務を果たしていただくことになるが、組織として行政サービスの向上につながるよう検討する。

役場庁舎の整備

町全体の財政推計での影響は

町長 大きな起債償還が終了するものを活用

篠田

①具体的な整備の方針を検討するにあたり、これからのようなスケジュールになるのか
②既存の公共施設等で利用可能な施設はないかを検証することも必要でないか。

整備計画を進めた場合、今回のまちづくり後期実施計画では、この事業は計上されておらず、財政推計での影響は

町長

①今後のスケジュールは、

②職員募集などを行った結果、職員を確保できる見通しのことです。
このことから、4月以降の施設運営、介護サービスの利用等に影響がないと聞いております。
役場庁舎整備基本計画の原案を本年度中に取りまとめ、議会にお示したい。
②公債費の負担額が大きい公営住宅整備事業債や、みなクルの過疎対策事業債等の償還が令和7年度に終了することから、庁舎建設に係る償還財源の確保も可能と考え、こうした推計も明らかにしながら、今後の議論で財政計画を説明したい。
他の公共施設の活用等についても、今後の庁舎整備のあり方として、基本計画の中で、改めて整理をしながら議論したい。

新型コロナウイルス拡大対策

町の感染拡大

防止対策は



町長 住民の感染防止に向け必要な対策を随時講じる



笹木利津子

笹木

- ① コロナ感染拡大により町民に対して気軽に相談できる窓口の設置について
- ② 企業・商店など町内事業者の影響や状況の掌握について
- ③ 認定こども園・学童保育において保護者や施設職員との今後の対応について

町長

- ① 現在当町では感染者の報告はないが、初期対応として2月庁舎内に「新型コロナ

ウイルス感染症対策委員会」を設置し感染拡大防止に向けた対応を進めるとともに、様々な情報提供に努めてきた。現在本町の相談窓口は、滝川保健所が窓口となっており24時間体制で相談業務にあたっている。

町においても予防方法、相談窓口の周知など広く情報提供を行い、問い合わせがあった場合は個別に丁寧な対応に努めていきたいと考えている。

② 町では2月セーフティネット保証融資の情報が国から出された時点で商工会、金融機関へ連絡を行い、町内の今後の見通しについて情報共有を開始している。

町としては、商工会と状況の共有を図るとともに、国から出される施策の活用も含めて適切な対応に務めてまいりたい。

③ 認定こども園や学童保育の状況では、保護者の就労支援や子どもの居場所確保の必要性を考え、認定こども園は開所をしている。学童保育では、午前中からの受け入れ体制を整え、3月9日から再開をしている。

子どもの受け入れにあたり接触を最小限にするよう細心の注意を払い、施設内

小学校・中学校・高校での感染拡大防止策は

教育長 学校との情報共有、連携を深め学習支援、不安解消の対応に取り組む

笹木

- ① 小学校での対応と今後の取り組みについて
- ② 中学校での対応と今後の取り組みについて

の消毒を強化し感染の予防に努めているところである。

備蓄マスク等の状況では災害時にマスク3000枚消毒液24本の備蓄がある。3月に入ってマスク1万枚が病院に納品されているが今後の納品のめどはたっていない。まずは町民に接する職員から感染を予防することを主眼に置き使用している。また集団感染等の発生に備えて保管が必要と考え、町民向けへの配布は難しいと考えている。

③ 商業高校での現状と今後の対応について

教育長

- ① ② 感染防止に対応した小

中学校の臨時休業においては道教委の要請により本町では3月23日まで臨時休業、24日修了式25日から4月6日まで春休みとした。

この間児童生徒の健康管理の掌握、学習課題の提供、学習方法指導のための分散登校を中学校では9日から実施。小学校では17日を予定している。それまでの間、各担任が学習の状況、健康状態を保護者に確認しつつ、家庭学習に必要なテキスト等を見童に郵送する措置を取っている。中学校では3月4日の高校入試に全員が無事臨んだという報告に合わせ、小中学校ともに、健康不良になった生徒はいない旨の報告を受けている。

③ 3月2日から24日まで臨時休業。この間学習課題の提供をはじめ各担任から健康状態の確認を行っている。在校生については個別相談の対応ほか、分散登校も検討中である。

第6期 まちづくり計画 後期実施計画 に係る要望事項

第6期まちづくり計画 後期実施計画について

3日間にわたりこれまでの前期計画の検証を踏まえ、後期原案について協議し行政に要望しました。

安全・安心に

住み続けるために

●住宅リフォーム事業

下限額を引き上げず従前と同額にするよう検討を。

●公園遊具の更新

白樺公園の遊具更新が計画されているが、今後それぞれの公園機能のあり方を検討し、計画的に遊具の更新にあたっていきたい。



ともに支え合い、

健やかに暮らすために

●町立国保病院

本年度資金不足に陥る見込みであり、今後検討委員会を立ち上げ、本年11月には答申を受けるとのこと。情報は随時、町民や議会に報告を。

●敬老会事業

高齢化率40%を超える中いかに参加してもらえかが重要であり再検討を。

●ボランティア推進事業

これまで活動をしていた方々には、大変貴重な人材であり、事業団と協議し地域ボランティアの推進に努めていきたい。

●児童館

3館複合化の計画が出されていたが、方向性を示す時期が来ており、本計画での位置づけを明確にしていきたいと思います。

心豊かに

学び続けるために

●英語指導助手

1名増員となり、今後の英語力向上に期待する。

また学校と教育委員会が連携し、英語指導助手の実力が十分に発揮できるよう働きやすい環境に努めていきたい。

●公設学習塾

より多くの児童・生徒に利用され、自らのやる気と学力向上に繋がるよう努めていきたい。



活力と魅力あふれる

産業づくりのために

●ないえ温泉のあり方

現在データ整理を行っており、年度内には報告できるとだが、今後のスケジュール等についても早急に対処し報告願う。

●道の駅

施設の設置目的を十分果たせるよう、指定管理者とより連携を深め、奈井江町を広くPRする観光資源として活用を努めていきたい。

みんなで造る、持続可能なまちづくりのために

●クラウドファンディング

まちづくりチャレンジ事業や、町民からの提案によるクラウドファンディングを利用した新規事業は、ふるさと納税にも繋がり、これらを活用し、町自らの提案による事業展開を願う。

●町民への情報公開

町民と共にまちづくりを進めるためにも、より一

層の情報公開を進め、情報の共有に努めていきたい。

●施設使用料、手数料

厳しい財政状況の中で、見直す時期に来ており、計画の中で位置づけが必要では。

●職員のスキルアップ

効果的・効率的な行政運営を遂行するためにも、研修や人事評価制度を機能させ、スキルアップに繋げていきたい。



その他

本計画には、町立国保病院、ないえ温泉、役場庁舎、派遣職員の処遇等の課題は、入っておらず、実施すると財政運営に影響が出る。

今後さらなる情報開示を求める。

まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

調査内容

地方自治法、条例、国の通知関係、募集・選定に係る事務・制度運用の流れ

指定管理者制度について

制度に対する検証を

問 指定管理料の考え方について

答 町の要求水準の中で必要な管理運営経費を基本として算出。

問 各施設の利用者の評価を行う政側としても聞く必要があるのでは

答 今後前向きに検討する。

問 様々な管理運営方法の1つが指定管理者制度だが見直しは

答 毎年評価をしっかりと行い、どのような管理運営方法がよいのか十分検討する。

【委員会からの意見・要望】

指定管理者制度の導入により、利用者サービスの向上と経費削減の両面で効果があったと評価するが、制度導入から15年以上が経ち、施設によつては状況の変化もあることから、改めて検証を願いたい。収支の状況については、一層透明化させ、町民への説明責任を果たすためにも、調査の方法などを検討し、利用者の声が施設運営に生かされるよう努めていただきたい。

町立国保病院の管理運営について

引き続き経営改善に努めて

調査内容

令和元年度患者数、診療行為別の状況、開放型病院運営状況・サービス付高齢者向け住宅入居状況・新改革プランに対する決算額等の推移について

問 現在の医師、正職員、臨時職員の人数は

答 常勤医師4名、正職員49名、臨時職員24名。

問 昨年末からの入院患者数が減っている要因は

答 多くの患者が亡くなったことと、数名が退院したことが主な理由、診療報酬改定で症状の重い患者が増えている。

問 薬の待ち時間が長いが

答 薬剤師が変わったため。今後2名体制で対応していく。

問 2つの介護施設が4月から完全民営化移行となるが影響額は

答 決算見込みだが、医師の派遣と薬局の部分で、約2千200万円の収入減。

問 病院のあり方検討委員会の現在の取り組み状況は

答 4月から速やかに会議開始できるように資料の整理、他の病院の状況、道からの学識経験者の推薦等委員の選任の準備等行っている。

【委員会からの意見・要望】

地域の人口減少、診療報酬の改定など自治体病院を取り巻く環境は厳しさを増し、町立国保病院も本年度末に資金不足に陥る見込みである。経営改善を進めるため、町内外の有識者による病院のあり方を検討する委員会を立ち上げると報告を受けているが、病院機能や役割を明確化し、自治体病院として町民の期待と信頼に応えられるよう努力願いたい。

第1回臨時会 2月12日開催

〈議案〉

■令和元年度一般会計補正予算

(ふるさと納税に要する経費等
12,717千円を追加し、総額47億
4,934万円)

■奈井江町第6期まちづくり計画基 本構想の改定について

委員会報告

議会運営委員会報告

2月12日

・第1回臨時会の議会
運営について

2月26日

・第1回定例会の議会
運営について

3月16日

・追加議案について
・議会懇談会について

広報常任委員会報告

議会だより18号(2月15日発行)
編集のため4回の委員会を開催

Committee
Report

お知らせ

議会懇談会を6月に予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染が拡大しており、延期せざるを得ない状況になりました。

今後の予定については、様子を見ながら皆様にご案内をいたしますのでご理解をいただきたいと思います。

全員協議会報告

1月21日

・町からの報告事項(役場庁舎)

2月12日

・第1回臨時会について

2月25日

・第1回定例会の議案
説明について

3月3日

・第1回定例会の議会
運営について

3月16日

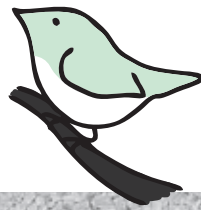
・第1回定例会の議会
運営について

・一部事務組合等の議会報告について

・議会懇談会について

4月15日

・議会懇談会について



第2回定例会(予定)

■日程 令和2年6月19日(金)
~23日(火)

■場所 役場3階議事堂

問合わせなどは議会事務局まで

☎ 65-2166

✉ gikai@town.naie.lg.jp

表紙の1枚

ミニトマトの定植風景です。



編集後記

年明け早々から新型コロナウイルス感染が拡大し、いつ終息するのか先の見えない状況ですが、町民の皆様方も健康管理には、充分ご留意下さい。

さて4月より第6期まちづくり後期計画が実施されます。町民の皆さんの声と、議会からの要望などが反映された計画となっています。

今後とも町民の皆さんと共に考え、共に築き上げる奈井江町でありたいと願うところです。



発行 奈井江町議会 編集 広報常任委員会

委員長 遠藤 共子
副委員長 笹木利津子
委員 大関 光敏
篠田 茂美